

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.62

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	基幹型地域包括支援センター事業	担当部署	健康福祉部 長寿介護課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	介護保険法第115条の45,46		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成	27 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると					
(小項目)		社会保障					
施策	10	介護保険制度の円滑な実施					
基本事業	5	包括的支援事業及び任意事業の推進			終期	未定	
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	基幹型地域包括支援センターを設置することにより、平成18年に市内5か所に委託設置した地域包括支援センターの機能強化及び後方支援を進め、地域包括ケアシステムの構築を図る。		事業 内容 (R1)	①自立支援ケア会議の開催 ②認知症対策の推進 ③介護予防ケアマネジメント業務の実施				
実施方針	高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるための地域の包括的な支援・サービスの提供体制の構築を図る。			当初 からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	総合相談件数(困難事例)	199	200	200	200	200	件
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	自立支援ケア会議で検討されたケース		84	80	120	120	120	件

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①困難事例の同行訪問 ②事例検討会の実施 ③自立支援ケア会議 ④認知症対策 ⑤生活支援体制整備事業	①事例検討会の実施 ②地域包括・居宅介護支援事業所職員スキルアップ研修実施 ③自立支援ケア会議の改善 ④認知症ケアパスの作成・周知 ⑤SOSネットワーク会議の開催、メール配信の開始	①自立支援ケア会議の開催 ②認知症対策の推進 ③介護予防ケアマネジメントの向上	継続	継続
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	28,900	0	28,900	27,407	27,407

事務事業名	基幹型地域包括支援センター事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容		①自立支援ケア会議については、年度当初に助言者との協議を行い、今年度の実施方針等について情報共有を図った上で、個々の事例1件ずつについて多職種連携による検証・改善の提案等を行い、対象者の自立支援につなげた。 ②認知症対策の推進 ・認知症高齢者等SOSネットワーク会議を開催し、関係機関の連携強化を図った。 ・市内小中学校での認知症サポーター養成講座を実施するとともに、市民に対しての普及啓発活動を行った。 ③介護予防ケアマネジメントの向上を図るため、各地域包括支援センターと共同で事例検討会を実施するとともに、地域包括支援センター・居宅介護支援事業所職員スキルアップ研修を実施した。					
	指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	総合相談件数(困難事例)	172	182	200	200	200	件
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	自立支援ケア会議で検討されたケース		74	56	80	80	80	件
	目標達成率(実績/目標)			46.7				%
事業費推移(円)	年度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		26,859,009	0	27,815,985	0	27,815,985	
	財源内訳	国庫支出金	12,930,620	0	11,127,000	0	11,127,000	
		県支出金	5,760,523	0	5,563,000	0	5,563,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
その他		3,003,810	0	5,562,985	0	5,562,985		
一般財源		5,164,056	0	5,563,000	0	5,563,000		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	自立支援ケア会議で検討されたケース		成果指標に対する所見	台風や新型コロナウイルス感染症の影響等により、会議を中止したことなどが影響し、検討したケース数は目標を大きく下回ったが、多職種連携により個々の事例1件ずつについて検証・改善の提案等を行った。また、県内他市町村でも自立支援型のケア会議の実施を予定しており、県内先進地として多数の視察受け入れを行った。		
	目標	120	件				
	実績	56	件				
	評価	D:目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	自立支援ケア会議については、対象者の選定基準等について助言者との検討を継続して行き、対象者の拡大に向けて見直しを図る必要がある。また、認知症高齢者等SOSネットワーク事業や認知症初期集中支援チームなどの認知症対策事業については、さらなる周知啓発による認知度向上を図る必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	自立支援ケア会議の継続と、虐待等への対応を含めた権利擁護事業並びに認知症SOSネットワーク事業を中心に推進する。また、各地域包括支援センターの後方支援として、相談対応や地域の介護支援専門員に対する支援を継続して行う。			
	令和3年度	第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の初年度であり、地域型包括支援センターの後方支援や自立支援ケア会議、認知症啓発等を推進しながら、地域包括ケアシステムの構築を図っていく。			